

交換留学体験作文

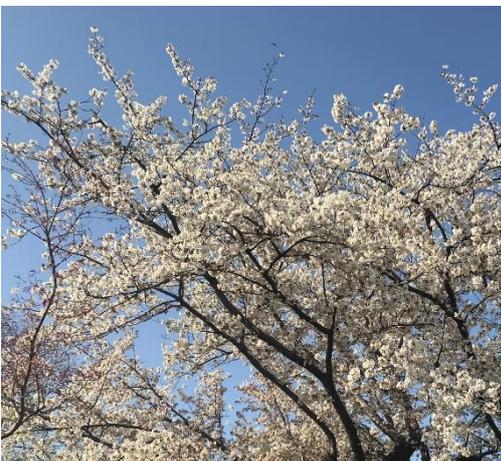
シン ウキ（台湾・政治大学）

今週中にやっと梅雨明けの模様で、連日の猛暑とともに前期が終わろうとしています。私は3月の終わりに来日し、留学生活がもうすぐ5か月目に突入します。前期は思い通りいかなかったことやアクシデントばかりで、何度も心が折れましたが、いつかこれらの努力と経験は報われると思い、そして友達の支えもあり、諦めずに歯を食いしばって頑張ってきました。

まずは春夏について語りたと思います。台湾とは違い、日本は四季がはっきり区別できているので、来る前から日本の季節を思う存分満喫したいと思いました。来たばかりのときは春だったので、日差しが柔らかくて心地良いお天気が続いており、キャンパスと大学周辺をお散歩したり、あっちこっち行って桜の写真を撮ったりするのは日課のようなことでした。

6月上旬に梅雨入りし、毎日がじめじめしていて鬱陶しかったけれども、大好きなアジサイをたくさん見られて大変満足していました。校内はもちろん、近くの白山神社にも行って色とりどりのアジサイを見ました。鮮やかに咲き誇るアジサイに癒され、憂鬱な梅雨の時期だったけれど、気持ちは晴れ晴れでした。

今週は二度目に梅雨明け、いよいよ本格的な夏がやってくるようです。窓の外から聞きなれないミンミンゼミの鳴き声が聞こえ、すこし台湾が恋しくなってきました。



次に、今学期に受けた授業を振り返っていきたいと思います。学部の授業を三つ、留学生向けの授業を五つ履修しました。最低限のコマ数しか取っていませんが、日本での生活と日本語をまだ慣れていないことと、つつい先延ばししてしまうので、いつも課題に追い込まれています。つらくてやる気が全く出ない日もありますが、興味深い授業をたくさん受けられてとても幸せの気分でした。

私がお茶大への留学を決めた理由の一つは、ジェンダーについてもっと詳しく学びたかったからです。なので、今学期はジェンダー研究をされている指導教官の大橋先生の授業を二つ履修しました。日本語がまだまだですので、授業を受けるときはよく緊張してしまい、うまく話せませんが、先生がいつも親切にしてくださって感謝いたします。学部の授業を通じ、他の方々はジェンダーにまつわるテーマについてどう思うか、いろいろな視点の意見や考えから学ばせていただきました。

留学生向けの授業はさまざまな国からの留学生と友達になって、交流できて、かけがえのない大切な経験になりました。そして、すべての授業が面白くて、生活や学業に役に立つ内容で大変助かりました。

お世話になった方々へ感謝を申し上げます。まず最初は指導教官の大橋先生に、いつも温かく見守ってくださりありがとうございます。

そして、いつも留学生の面倒を見てくださった萩原先生とマツダ先生、優しく学生思いの加藤先生、授業でアットホームな雰囲気を作ってくくださった西坂先生にも感謝の気持ちを伝えたいと思います。

また、学部のトルコ語授業でわざわざ留学生の私にプリントをコピーしてくださった松尾先生も、本当にありがとうございました。

最後に、日本渡航した際にお世話になっていた国際課の大野さんにも、心から感謝の気持ちを申し上げます。